

シナリオ説明書

目次

[目次](#)

[用語定義](#)

[スタートステップ](#)

[Google Homeのセリフ](#)

[次のステップ](#)

[ユーザ発話のキーワード](#)

[聞き直しステップ](#)

[継続ステップ](#)

[URLを送る](#)

[画像を送る](#)

[シナリオ例](#)

用語定義

シナリオ	対話を実現するもの、複数のステップを含む
ステップ	一回のGoogle Homeの発話とユーザの発話に相当する、ユーザの発話がない場合もある
Google Homeの発話	Google Homeがユーザに対して話しかけること、その内容
ユーザの発話	Google Homeの発話に対して、ユーザが返事すること、その内容

スタートステップ

アプリが呼び出された時に最初に実行されるステップがスタートステップです。スタートステップはスプレッドシートの最初（1行目は列名なので、2行目）に指定します。スタートステップのステップ名は任意ですが、慣習的に「スタート」にします。

	A	B	C
1	ステップ名		Google Homeのセリフ1
2	スタート		このアプリは将棋についての質問に答えるアプリです。何について聞きたいですか。
3			

Google Homeのセリフ

Google HomeのセリフはそのステップでGoogle Homeが発話する内容です。Google Homeのセリフ1、Google Homeのセリフ2、Google Homeのセリフ3、などのように複数指定された場合は、ランダムに選択され発話されます。ステップには必ず一つのGoogle Homeのセリフが必要です。

	A	B	C	D	
	ステップ名		Google Homeのセリフ1	Google Homeのセリフ2	Go セリ
	スタート		このアプリは将棋についての質問に答えるアプリです。何について聞きたいですか。		

次のステップ

Google Homeのセリフにユーザが返事したら進むステップを、**次のステップ**として指定します。指定するステップ名は存在するステップ名である必要があります。注意すべきは一つのステップには複数の**次のステップ**が指定できることです。どの**次のステップ**に進むかは**ユーザ発話のキーワード**で指定します。**次のステップ**を一つも指定しない場合は、Google Homeは**Google Homeのセリフ**を発話したのちに会話を終了します。

E	F	G	H	
Google Homeのセリフ3		次のステップ	ユーザ発話のキーワード1	ユーザのキーワード
		ルール	ルール	
		対局の流れ	対局の流れ	流れ
		勝敗の決まり方	勝敗の決まり方	勝敗
		禁止行為	禁止行為	禁止
		駒の総数	駒の数	駒って
		自分の駒の数	自分の駒の数	一人の

ユーザ発話のキーワード

Google Homeのセリフに対応して想定するユーザ発話のキーワードを指定します。次のステップごとに指定します。一つの次のステップに複数のユーザ発話のキーワードを指定することができます。少なくとも一つは指定する必要があります。一つ目に指定したものが代表例になります。キーワードは部分一致でマッチします。例えば「ご飯」と「昼ご飯」を両方指定する必要はなく前者だけでマッチさせられます。ユーザの発話がいずれかのユーザ発話のキーワードにマッチすると、該当する次のステップに進みます。マッチはスプレッドシートの行の順に行われますので、「りんご」と「青りんご」を区別したい場合は、後者を先に記述する必要があります。いずれの行にもマッチしない場合は、聞き直しの処理に入ります。聞き直しの処理は、聞き直しステップの有無によります。

G	H	I	J	K	
次のステップ	ユーザ発話のキーワード1	ユーザ発話のキーワード2	ユーザ発話のキーワード3	ユーザ発話のキーワード4	ユーザキーワード
ルール	ルール				
対局の流れ	対局の流れ	流れ			
勝敗の決まり方	勝敗の決まり方	勝敗			
禁止行為	禁止行為	禁止			
駒の総数	駒の数	駒っていくつ	コマの数	コマっていくつ	
自分の駒の数	自分の駒の数	一人の駒	1人の駒	一人の駒の数	
マス数	マス数	マス	ます		
駒の並べ方を画像で送信	並べ方を画像	最初の配置を画像	初期配置を画像		

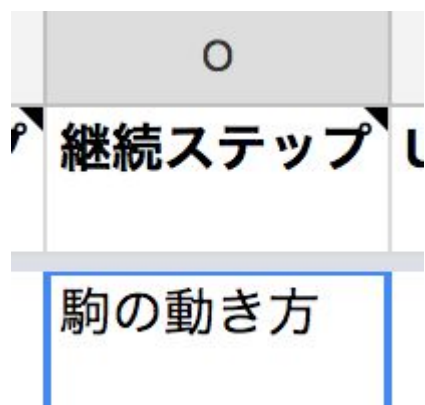
聞き直しステップ

ユーザの発話がユーザ発話のキーワードのいずれにもマッチしない場合、聞き直しの処理に入ります。聞き直しステップが指定されている場合は、次のステップの指定と同様にそのステップに進みます。その観点では聞き直しステップはフォールバックの機能を提供します。すなわち、あらゆるユーザの発話を受け付けるとみなすこともできます。聞き直しステップは省略可能で、省略された場合はステップは変わらず同じステップのGoogle Homeのセリフが発話されます。

J	K	L	M	N	
ユーザ発話のキーワード3	ユーザ発話のキーワード4	ユーザ発話のキーワード5		聞き直しステップ	総
歩の成駒				駒の動き方聞き直し	
飛車の成駒					

継続ステップ

継続ステップは少し特殊な機能です。継続ステップを指定すると、そのステップを実行時にGoogle HomeのセリフをGoogle Homeが発話したのちに、ユーザの発話を待たずに継続ステップで指定されたステップに進みます。進んだ先のGoogle Homeのセリフは発話されませんが、進んだ先のステップでユーザの発話が処理されます。継続ステップが指定されたステップでは、次のステップやユーザ発話のキーワードなどの項目は無視されます。継続ステップを使うと、あるステップで定義したユーザ発話のキーワードを、別のステップで定義されたGoogle Homeのセリフに対して使うことができます。これを使うと、スプレッドシート上のコピーを減らすことができます。一方で、継続ステップの機能を一切使わなくてもシナリオは組み立てることができるため、本機能は経験者向きとなります。



URLを送る

URLを送るにURLを指定すると、Google Homeのセリフに加えてURLを示すカードが表示されます。スマホの場合は発話と同時に表示されますが、Google Homeの場合は一旦スマホへの転送の承認をユーザから得てから、スマホに表示します。Google Homeの場合は会話が終わる場合、すなわち次のステップが指定されていない場合のみ機能します。Google Homeからスマホへの転送の概要については、下記のブログを参照ください。

<https://ebisu-voice-production.com/blogs/about-surface-capabilities/>



